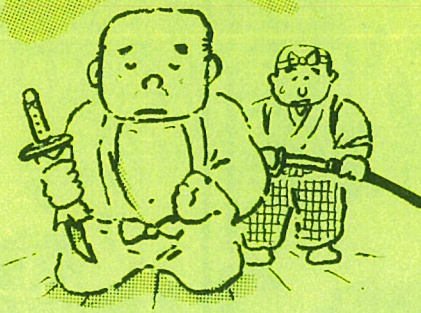


第5話

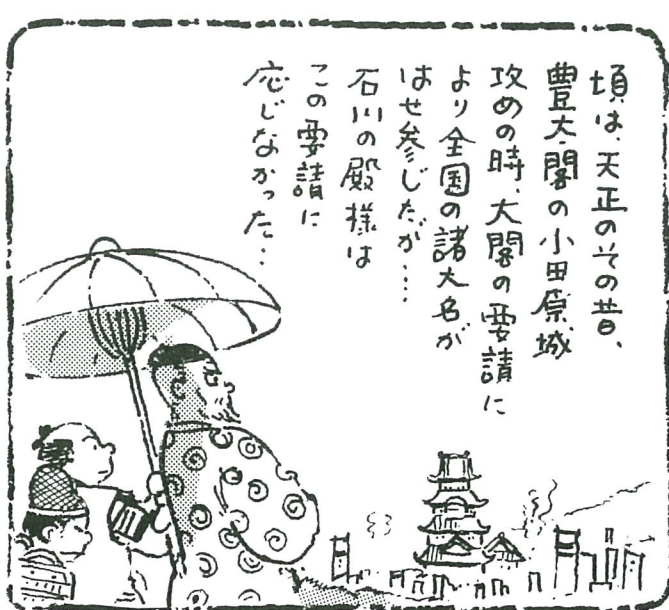
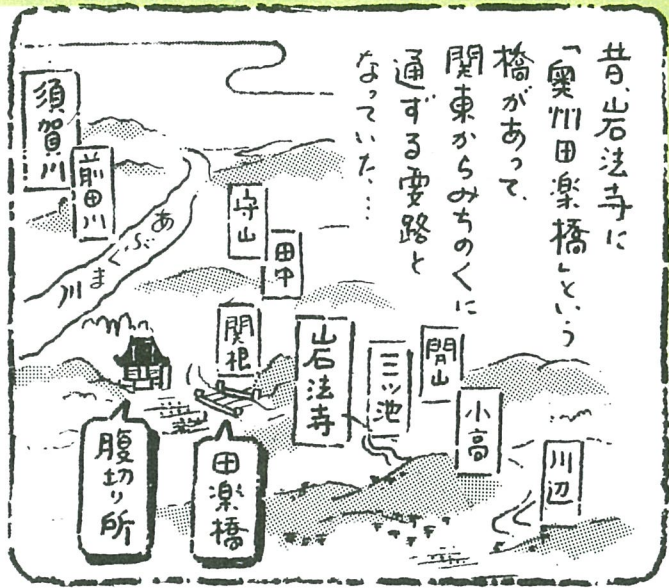
—岩法寺—

石川家の先祖に対して
申しわけない！この上は…
家老溝井六郎右エ門割腹の地



たまたがもの
民話と伝説

『腹切り所』の物語



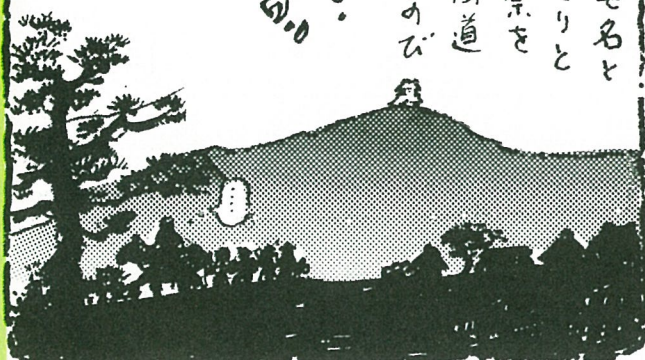
石川三芦城では大騒ぎとなった。
城主昭光公は、
重臣たちの意見を
徴したが、ハト派
タカ派に分れて
決しなかった...

余の腹は
決った、
大關の軍には
とうてい勝目は
ないわ



その夜、重臣七名と
相圖り、こっそりと
甥の伊達政宗を
頼って奥州街道
をさしてサ洛ウのび
て行った...

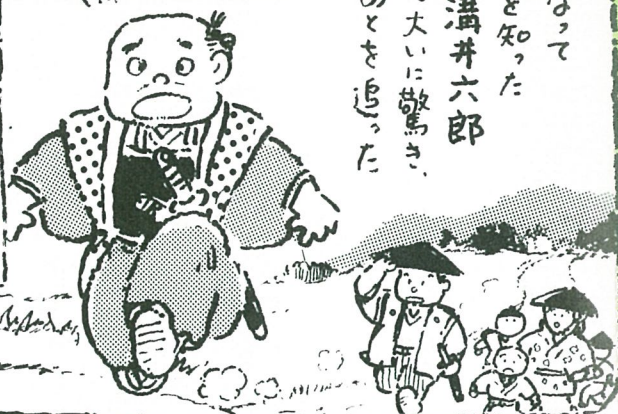
ワッ
ドゥドゥ



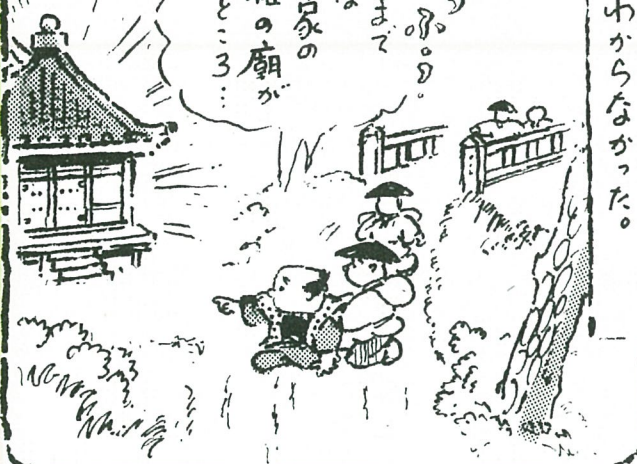
羽立日になって
このことを知った
家老の溝井六郎
右エ門は大いに敬慕さ
ずくにあとを追った

殿
あ

...が、昭光公の行方は
わからなかった。



ここまでは
これは
石川家の
先祖の廟が
あるところ...

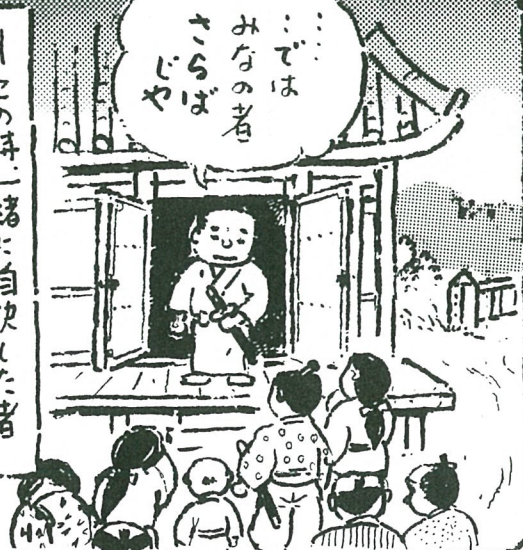


こんなことに
なってしまう...
五百年
二十五代も続いた
主家の石川家の
ご先祖に対し誠に
申しわけない...

自分
は
ここで死を
選ぶより外に
途はない



—この時一緒に自決した者
の数などは語り伝えられていない。



ごでは
みなの方
さらば
じゃ



介錯に当たった者の刀などを洗ったという「刀洗いの池」が今でも残っている。